

様式第4号（第11項関係）

審議会等の会議の記録

審議会等の名称	令和7年度第3回西脇市まちづくり推進審議会
開催日時	令和8年2月6日（金）午後7時00分～8時40分
開催場所	西脇市役所 大会議室
出席委員の氏名 又は人数	平田富士男会長、藤原悟副会長、松尾憲子委員、 藤井琢己委員、來住啓子委員、高澤有可里委員、 清水賢一委員、田中美紗子委員、堀井悠次委員 計9名
欠席委員の氏名 又は人数	松山千鈴委員、森川元良委員、竹内諭委員、 竹本愛委員、西山桂委員 計5名
出席職員の職・ 氏名又は人数	まちづくり課長 藤原広三、まちづくり課課長補佐 二若直也、まちづくり課職員 野村悟史、片岡雪乃 計4名
公開・非公開の別	公開
非公開の理由	—
傍聴人の数	0名
議題又は協議事項	1・2 開会、市民憲章朗唱 3 あいさつ 4 報告事項 (1) 答申書について (2) まちづくり活動に活用できるワークシートの 作成について 5 意見交換 6 閉会

会議の記録（概要）

発言者	発言内容等
	1・2 開会、市民憲章朗唱
市長	3 市長あいさつ 委員の皆さまには、参画と協働のまちづくりの推進にご尽力いただき感謝申し上げます。JR加古川線の利用促進についても、多くの市民が参画してくださったおかげで、輸送密度を1.7倍にすることができました。 また、平田会長におかれては、今年度をもってまちづくり推進審議会の会長を退任されるとお聞きしている。令和2年

	<p>度から3期6年間務めていただいております、心より感謝申し上げます。</p> <p>今年度は市民主体のまちづくりの活性化方策についての答申をいただけるとのことであるが、それをベースに今後の西脇市のまちづくりを進めていきたい。</p>
事務局	<p>4 協議事項</p> <p>(1) 答申書について</p> <p>資料1「市民主体のまちづくり活動の活性化に資する方策について（答申）」に基づき、事務局から説明</p>
委員長	<p>内容は問題ないが、一文が長く読みづらい。重複する表現や文章の構成を見直し、読みやすい答申書にしてもらいたい。</p> <p>私も内容はこれでいいと思うが、文章の体裁を見直すべきだと思う。これまでの活動をブラッシュアップすることやまちづくり活動にこれまで参加してこなかった層に対して参画を促進することはとても重要である。</p>
会長	<p>答申書別紙にあるアイデアの中で、予算措置されたものはあるのか。</p>
事務局	<p>まずは予算のかからない、既存事業の振返りワークシートやまちづくり活動の紹介動画の作成から取組む予定としていたため、予算措置はしていない。また、安価な費用で実施できるものは、予算の執行状況をみながら対応していきたい。</p>
委員	<p>安価な費用と言われていたが、まちづくり活動に参加した際に渡す特典は対応できそうか。</p>
事務局	<p>別の会議で、お菓子のおまけにあるようなキャラクターシールの作成費用について聞いたことがあるが、思っていたより安く作成できることがわかった。作成枚数によっても費用に変動はあるとは思うが、検討する。</p>
会長	<p>様々なアイデアが委員から提案されたので、何か新しい事業を実施いただければと思う。</p>
委員	<p>答申書については、事務局が文章の体裁を見直したものを、私が確認し、それを市へ提出することによろしいか。</p> <p>異議なし</p>
事務局	<p>(2) まちづくり活動に活用できるワークシートの作成について</p> <p>資料2「まちづくり活動に活用できるワークシートの作成について」、資料3「まちづくりのとびらをあけてみた</p>

委員	<p>らワークシート」、資料4「ワークシートの説明資料」に基づき、事務局から説明</p> <p>ステップ1のワーク②「振り返りをしてみよう」であるが、定性面と定量面に分けると考えが狭まり、意見が出しにくくなるように感じる。</p>
事務局	<p>様々な観点から振り返りを実施してもらいたく、定性・定量と区分けしたが、他に振り返りが行いやすくなるような区分けがあれば、意見をお願いしたい。</p>
会長	<p>定性面の欄に記載がある「良かったところ」及び「課題だったところ」程度の区分けで実施するのがいいのでは。</p>
事務局	<p>そのように修正する。</p>
委員	<p>ステップ1のワーク①「既存事業・イベントの目的やねらいは？」について、このワークはその団体の代表者や事務局など、当初の事業の目的や狙いがわかる方が事前に書いておくということであるが、ここに事業を振り返るきっかけや想いを書いてもらった方が、参加者も振り返りやすいのではないかと感じる。</p>
事務局	<p>また、まちづくり活動団体が抱えている問題は活動者の高齢化や後継者不足が多いように感じるので、まちづくり活動にこれから取り組む方向けのワークシートを作成する方が優先ではないか。</p>
事務局	<p>ワーク①は、その事業をよく知っている代表者や事務局に、ワーク②及び③は、事業に携わった方々で事前に検討いただければ効率的に振り返りできると考えているが、柔軟に使用してもらえればと思っている。</p>
事務局	<p>また、これからまちづくり活動に取り組む方については、昨年度作成したリーフレットや子ども会議で使用したワークシートが活用できると考えている。</p>
事務局	<p>このワークシートの狙いは、団体内の立場に関係なく参加者が活発に意見交換し、既存事業をブラッシュアップすることであるため、そのブラッシュアップに使ってもらいやすくなるよう随時内容を見直していきたい。</p>
委員	<p>このワークシートをベースにして、各団体の実情に合わせて使ってもらいたいと思う。活動に参加した方の意見を主に聞きたいということであれば、ステップ1～ステップ2を重点的に使用することにしたり、各ワークを事前に記入して臨むか当日記載してもらおうかどうかは、そのワ</p>

	<p>ークショップのファシリテーターを担う方が、団体の雰囲気を見ながら決めたらいい。同じ団体の方がファシリテーターを務めるとうまく進まないということであれば、現在西脇市から中間支援業務を委託されているみんぐるにお願いする方法も考えられる。この記入例だけでは進めにくいと思うので、ファシリテーターを置いてこのシートを使えばと思う。</p>
事務局	<p>事業の振返りにつながるのであれば、ワークシートの一部だけを実施することでもいい。各団体の実情に合わせて使ってもらえるよう加工できる状態で公開したい。また、今回のワークシートが完成ではなく、ご意見をいただきながら随時修正を加えていきたい。</p>
	<p>また、ワークシートの他のバージョンについては、新規事業の立案バージョンも考えられる。しかし、各団体で担い手不足が生じている中、新たに負担に感じられることよりも、まずは既存事業を振返りいただく方が優先度が高いと考えた。委員の皆さんのなかで、他にこんなバージョンがあればいいのではないかというのがあれば、ご意見いただきたい。</p>
会長	<p>事業の振返りバージョンが、ある程度使いやすいものになってから次のバージョンを考えればいいのでは。</p>
	<p>このワークシートはワークが細かく設定されているが、どのように進めるかは、ファシリテーターや事務局が、議論の様子を見ながら決めればよいと思う。</p>
委員長	<p>私の地区では、今年度ファシリテーターを招いて、既存事業を見直すワークショップを開催した。その結果、来年度に協議した改善点を取り入れることとなった。このワークシートもそのように使えたらいいと思う。</p>
会長	<p>これまで出た意見は取り入れるべきだと思うが、まずは公開して使ってもらう方がいいと思う。使用された方からの意見をもとに、ワークシートをブラッシュアップさせることが大切だと思う。</p>
委員長	<p>このワークシートの使い方がある程度浸透した段階で、次のステップとして、団体のリーダー同士でこのワークシートを使って活性化を考えると、新たな発見などがあると思う。</p>
委員長	<p>表紙に「ワークシート ver.」と記載されているが、今後違うバージョンができることを考えると、「振返り ver.」</p>

会 長	<p>がいいのでは。</p> <p>これまでの意見をもとに修正し、まずはまちづくり団体に使ってもらえる仕掛けを検討いただきたい。また、ワークシートの内容についてもPDCAを回してもらいたい。</p>
会 長	<p>5 意見交換</p> <p>今期最後の審議会となるため、各委員からご意見をいただきたい。</p>
委 員	<p>今回初めて中間支援団体として委員を務めさせていただいたが、ここで協議した内容をどう地域に落としこんでいくかが自身の課題だと考えている。今回のワークシートについても、活用できそうな団体が何団体か思いつくので支援していきたい。</p>
委 員	<p>事務局が作った資料に色々コメントし申し訳なかった。今回は時間も限られていたので仕方ないが、ワークシートの活用方法まで協議したかったのが正直なところである。</p>
委 員	<p>多可町でセブンサミットという7つの山をめぐるスタンプラリーイベントがあったが、遠くから多くの方が来られていた。そのようなイベントのように、人を新たに呼び込むような取組をしたいと考えているが、なかなか良いアイデアがでてこない。まちづくり活動について、若い方に関心をもってもらうことが我々の使命かと思う。</p>
委 員	<p>今期は若い委員の方が増え、新しいアイデアをたくさんいただき、とても勉強になった。所属する団体の拠点は多くの世代が集まる場を理想としていたが、なかなか実現しなかった。しかし最近、子どもが集まってくれるようになった。4月には小学校にも拠点の存在をお知らせして、本格的に子ども達が集まる場所を目指して頑張っていきたい。みんぐるがそのような役割を担っているとお聞きしているので、また見学に伺いたい。</p>
委 員	<p>私の村では昔からの事業や進め方がそのままになっているので、このワークシートを使って振返りを実施したい。今の時代に合わせて、やめるべきことはやめるようにしたい。</p>
委 員	<p>西脇市の将来のまちづくりに関して協議する会議に参加させてもらえて嬉しく思っている。思いつきで言ったことを平田会長が上手にまとめてくださって、それを事務局が形にしてくれることは非常にありがたい。これからも若い方の意見をどんどん取り入れながら進めていってほしい。</p>
委 員	<p>この審議会で皆さんの意見を聞き、たくさん勉強させてい</p>

<p>委員 会長</p>	<p>ただいた。実際に活動をする中で、当初の目的と異なる活動をしてしまうことがある。目的を再確認することは本当に大事だと思うので、このワークシートを活用しながら振り返ってみたい。</p> <p>現在、主にJR加古川線の活性化事業に取り組んでいるが、取組の結果、遠くから加古川線に乗りに来てくれる人が増えた。更なる活性化を図るため、このワークシートを使って事業の振り返りをするとともに、その先の事業を考えていきたい。</p> <p>この審議会の会長を6年間務めさせていただいたが、あっという間に過ぎてしまった。普段から、学生には実際に経験してから提案することが重要だと教えている。この審議会の委員の皆さまは、それぞれまちづくり活動に取り組まれており、自ら経験した上で発言されることが、他の審議会と異なる点だと感じている。私は今年定年退職し、地元のコミュニティのためになれるようなことを始めようと思っている。私自身もやってみることから始めているので、委員の皆さまも引き続き、西脇市のためにそれぞれができることを行い、PDCAをまわしながら進めていってほしい。皆さまを中心として、西脇市のまちづくり活動が発展していくことを願っている。</p>
	<p>6 閉会</p>
<p>問合せ先</p>	<p>都市経営部まちづくり課</p>